

出雲大社&大山&足立美術館山行報告

【山行日】2025年 5月17(土)~19(月)

【集 合】岩舟支所 P AM 3:00

【費 用】マイカー1台 : 46,800円

【メンバー】CL:鈴木、SL:大西、
青柳、飯口、関、渡辺

5月17日(土) 雨後曇り

岩舟支所からひたすら走り、出雲大社を観光
し国民宿舎大山ビューハイツへ宿泊する。

岩舟支所 P3:00=出雲大社 14:00/15:30=国民
宿舎大山ビューハイツ 16:40



山行アンケートで足立美術館のリクエストが有り、出雲大社と大山登山を併せて計画した。足立美術館は米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」が全国1000箇所以上の名所旧跡を対象に実施した「2024年日本庭園ランキング」において「22年連続庭園日本一」に選ばれた名園を持つ美術館である。第二位に選ばれたのが京都市の桂離宮の庭園であることから、いかに素晴らしい日本庭園であるかが分かると思う。



天気予報は今日と明日は雨の予報で、明後日は晴れる予報になっていた。

岩舟支所を3:00に出発し、出雲大社まで900Kmの超ロングドライブがスタートする。東北道から圏央道を進み、いつもの狭山PAに寄ってトイレ休憩を取る。

圏央道から東名高速、新東名高速と進み、いつもは新静岡SAで朝食を摂るが、運転手が「調子が良いので岡崎SAまで行く」と言うので岡崎SAで朝食を食べる。その後伊勢湾岸道から新名神、中国道と順調に走り、落合JCTから米子自動車道に入り蒜山高原SAでランチタイムとする。

運転手は食欲が無いと言うので、5人でレストランに行くとカレーハウスになっていた。男性はカツカレーを女性達は野菜カレーをオーダーし、皆さん食欲旺盛でアツと言う間に完食し出雲大社へ向かう。米子から山陰道に入るが、まだ未完成で分かりづらい高速道路である。岩舟支所を出発して11時間のドライブでようやく出雲大社に到着し、運転手さん本当にお疲れ様でした。神門通りに出てお土産屋や飲食店の並ぶ間を通り、出雲大社の正門に当る木の鳥居をくぐり広い参道を緩やかに下って行く。しばらく歩くとすがすがしい松の参道になり、心身ともにリフレッシュされスッキリした気持ちに感じる。



大きな大国主大神像があり、縁結びの神様だが参拝する。銅の鳥居をくぐると神域に入り、拝殿まで進んで参拝する。出雲大社の拝礼は、二礼・四拍手・一礼と独特の拝礼になっている。拝殿の奥



に荘厳な本殿が建ち、本殿の周りを反時計回りに進んで本殿を見て回る。一周してから神楽殿に参拝し、神楽殿の大しめ縄は日本一のスケールを誇る。最後に宝物殿を見学し、お土産屋で買い物したら駐車場に戻る。車に乗ったら今宵の宿「国民宿舎大山ビューハイツ」へと向かった。往路を戻り出雲ICから山陰道に入り、米子自動車道の溝口ICで降りて県道45号線から県道264号線を通って宿に着く。建物は古いが登山口に近く、何よりも安いのでこの宿を選んだ。チェック

インを済ませたら部屋で着替え、お風呂に入ってから夕食となる。夕食は豪華ではないが美味しく、皆さん満足したようである。朝食の弁当を5人分受け取り、部屋に戻ったら明日の大山登山に備えて早めに床に就く。

5月18日(日) 晴れ後曇り

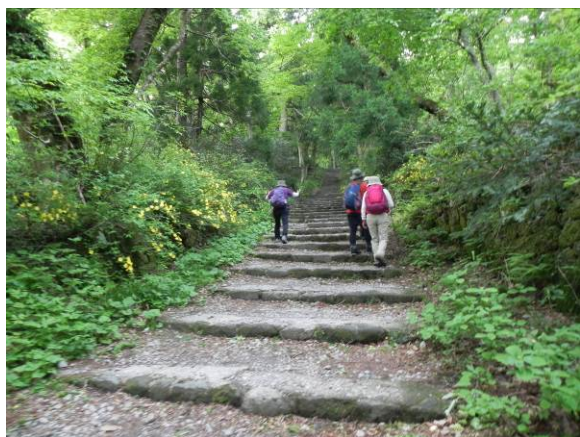
大山夏道登山道経由で大山に登り、元谷経由で大神山神社に下山し登山口駐車場に戻る。

登山口Pから松江城に移動し、松江城を観光後ルートイン松江に宿泊する。

ビューハイツ 5:00＝夏道登山口 P5:10/5:25～六合目 7:10/7:25～大山 8:20/8:30～山頂避難小屋

8:35/8:50～六合目 9:40/9:50～元谷 10:40～大神山神社 11:00/11:15～蕎麦 11:30/12:00～登山口

P12:10/12:20＝島根県庁 P13:00～松江城 13:10/15:20～島根県庁 P15:30＝ルートイン松江 15:50



の標識が立つ所から左に入り、整備された緩やかな石段を登って行く。夏山登山道は広くて歩き易く、皆さんもテンポ良く軽快に登って行く。2合目で休憩を取り、衣服調整と水分補給を行う。3合目を過ぎると少しずつ傾斜がきつくなり、ブナの巨木やイワカガミの花が見られるようになる。さらに雄大なブナの森に覆われた4合目を過ぎると、段差が大きい階段が続く急坂を登るようになる。

朝4:00に起床し昨夜いただいた朝食弁当をいただき、出発の準備をして車に荷物を積んだら登山口に移動する。青柳さんはまだ寝ていてゆっくり朝食を食べてからビューハイツを出て、大神山神社で11:00に合流する予定である。登山口に着きトイレを済ませ、ストレッチを行なったら出発する。天気予報に反して晴れていて絶好の登山日和になり、皆さん笑顔で会話が弾む。大山夏山登山口



ブナの新緑やピンクのダイセンミツバツツジの花に癒され、皆さんも力強く登って行く。5合目を過ぎると元谷へ下る行者分かれの分岐に出るが、ここは直進して岩の急坂を登り6合目避難小屋に



着く。大休止して果物や菓子をいただき、展望を楽しみながら疲れた足を休める。ここから8合目までは火山砂礫が露出した急登が続き、本日最も急な登りが待っている。高度を上げるにしたがって展望が開け、北壁から元谷にかけての荒々しい崩落壁が一望でき苦しさを紛らわせてくれる。

8合目まで登ると景色は一変して、天然記念物のダイセンキヤロボクの純林帯が広がる頂上台地に出る。ここから頂上までは植生保護の為木道が掛けられ

ており、360度の大大パノラマを堪能しながら登ることが出来る。南には中国山地の山々が、北から西に掛けては日本海の弓ヶ浜を見下ろすことが出来、絶景を楽しみながら爽快に歩ける。木道を30分程登ると山頂に着き、標高1709mの弥山山頂の石碑が置かれている。山頂は風が強いので、記念写真を撮り展望を楽しんだらすぐ下の避難小屋に移動する。避難小屋のトイレを借りて、小屋の中で休憩しようとするが空気が良くないので外で休みたいと言う。外に出て風が当たらない場所を探し、ご褒美のブッセやゼリーをいただく。



休憩したら下山開始し石室に向かって下ろうとしたら、木道修理中で通行止めになっており往路を戻って行く。6合目避難小屋まで下って休

憩し、このあたりからガスが上がって来た。この先から登山者が多くなり、すれ違いで待たされるこ



とが多くなる。行者分かれの分岐を右に下り、元谷に向かって急な階段を下って行く。下につれガスが濃くなり、ブナの原生林は幻想的な雰囲気皆さん喜んでいた。ブナの下にダイセンミツバツツジのピンクの花が咲き、皆さんからウワ～綺麗と歓声が上がる。急な木段の下りが続き足に堪えるが、ブナの新緑やダイセンミツバツツジの花に癒されながら元気に下って行く。下り切ると開けた河原に出て、右側に北壁の荒々しい岩壁が見えるはずだがガスの中で見ることが出来なかった。沢を

渡って少し登ると大堰堤で、ここで小休止する。この先から左に大神山神社へ向かって元谷右岸に沿って付けられた道を下って行く。この先治山林道への分岐があるが標識に従って直進し、鬱蒼とした樹林帯を抜けると大神山神社へ着く。トイレを済ませて本殿に行くと青柳さんが来ており、無事に合流することが出来た。本殿で参拝を済ませたら、登山口駐車場に向かう。社殿から石段を下っ

た先からは、日本一長い石畳の参道と言われる苔むした参道を緩やかに下って行く。途中、食堂に



「蕎麦」の看板があると、「食べたい」と言うので昼食を摂ることになった。食べてるうちに雨が降りだし、我々は晴れているときに登れ、本当にラッキーだと思った。昼食を食べたら駐車場に向かい、小雨が降っていたがさほど濡れることなく駐車場に着いた。靴を履き替えたら車に乗り、松江城へと向かう。大手前の駐車場は有料なので、少し手前の島根県庁の駐車場に車を止める。5分ほど歩くと大手門に着き、ここから場内へと入る。ボランティアガイドの方が「ガイドはいかがですか？」と声を掛けて来たので「是非お願いします」と頼んだ。松江城は現存12城の一つで、平成27年に国宝に指定された国宝5城の一つでもある。年配のガイドさんだが足腰はしっかりしていて、歩くのも我々よりも早く歩いて行く。松江神社や興雲閣など丁寧にガイドしてくれ、入城券を購入して本丸へと進む。本丸も各回ごとに丁寧にガイドしていただき、急な階段も軽快に登って行く。見学が終わりお年をうかがうと、来年90歳になるので今年で止めようと思っていると話していた。本丸への上り下りを見る限り我々よりも軽やかで、まだまだ続けられると思った。県庁駐車場まで戻り、車に乗って今宵の宿「ルートイン松江」に向かう。ホテルにチェックインし、17:00にロビーで待ち合わせ夕食を食べに出かける。ホテルお勧めの創作焼き鳥屋へ行き、ビールで乾杯して創作焼き鳥を美味しくいただいた。夕食が済んだらホテルに戻り、女性達は入浴してから床に就いたようだ。我輩はホテルに着いたらすぐにベットインして、朝までゆっくり寝ることが出来た。



5月19日(月) 快晴

ルートインの朝食バイキングをしっかりと食べ、今回の主目的「足立美術館」を観光して帰宅する。



**ルートイン松江 8:00＝足立美術館 P8:35/10:50
＝岩舟支所 P20:35**

朝起きて天気予報を見ると、今日一日快晴の予報になっていた。6:30から朝食バイキングをいただき、8:00にルートインホテルを元気に出発した。松江玉造ICから山陰道へ入り、安来ICで降りて10分程で足立美術館駐車場に着く。足立美術館は創設者、故足立全康氏の出身地に建ち、目を見張るほど美しい日本庭園と名画が調和する美術館である。

特に日本庭園は米国の日本庭園専門誌が選ぶ「日本庭園ランキング」に於いて「22年連続庭園日本一」を獲得した人気の美術館である。開館は9:00となっていたが、我輩が正面玄関に行くと「どうぞお入りください」と言われ、あわてて皆さんを呼び寄せ入館する。受付でチケットを購入し、入館すると広いロビーのガラス越しに枯山水の庭園が自然の山々を借景にして実に見事な景観である。まだ見学者が少なく、ベンチに腰かけて存分に鑑賞することが出来た。この先に進むと庭を絵画として楽しむ「生の額絵」が見られる。「庭園もまた一幅の絵画である」との言葉を残した足立全康氏。その言葉通り、窓枠が額縁となり、窓の向こうに絵のような枯山水庭が見える。



さらに進むと横山大観の名画「白沙青松」の雰囲気を感じて表現した白砂青松庭が待っている。海岸に見立てた白砂の浜辺に、大小の松が絶妙のバランスで配置され実に見事な庭園である。足立美術館と言えば日本庭園があまりにも有名であるが、展示された美術品も充実し素晴らしい作品が数多く見られる。なかでも日本画の巨匠「横山大観」のコレクションは120点以上展示され、実に見応えのあるコレクションである。

本館2Fには北大路魯山人の展示室があり、



陶芸や絵画、書、漆芸など、多彩な才能の持ち主である魯山人の作品が見られる。

今回は2時間以上かけてじっくり鑑賞し、皆さんが満足したら帰路につく。安来ICまで戻り、ここから往路を戻って岩舟に向かう。

途中、宝塚北SAで休憩し、昼食を聞くと「朝食バイキングをお腹いっぱい食べたので大丈夫」と言うので食事は摂らずに先に向かう。高速道路情報で新名神は工事渋滞で時間が掛かる情報なので、名神高速を通過して新東名を進むことにし

た。新東名の岡崎SAに寄って遅い昼食を食べ、お土産も買って岩舟に向かう。運転手さんは今日も好調に運転し、圏央道の狭山PAで最後のトイレ休憩を取る。高速道路は渋滞も無く順調に走り、予定より2時間早く岩舟所に帰着出来た。運転手さんは往復2000Kmを越える長時間の運転をしてくれ、本当にお疲れ様でした。感謝、感謝で頭が下がります。